

滋賀医科大学医学部附属病院

▶ 病院の概要

所在地：大津市瀬田月輪町
 開設者：国立大学法人滋賀医科大学
 開設年月日：昭和53年4月1日
 院長：松末 吉隆
 病床数：612床
 診療科目：内科（循環器、呼吸器、消化器、血液、糖尿病内分泌、腎臓、神経、腫瘍）、小児科、精神科、皮膚科、外科（消化器、乳腺・一般、心臓血管、呼吸器）、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、母子診療科、女性診療科、泌尿器科、眼科、麻酔科、ペインクリニック科、放射線科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、救急・集中治療部、形成外科
 医師数：391名
 指導医数：288人、うち講習会修了者数133人
 一日平均外来患者数：1315、4人
 一日平均入院患者数：542、4人（H29、3月現在）



▶ 研修プログラムの目的と特徴

滋賀医大病院での臨床研修は、患者さんから信頼される全人的医療を行うことができる医師を育ててゆくことです。このためには患者さんや指導医、上級医、同僚を含めた周囲の人々とのコミュニケーション能力が基本となります。

本院では、初期トレーニング段階でルールに慣れていくためのオリエンテーションや採血講習やBLSなど各種トレーニングコースを設定しています。プライマリから3次まで、多角的な医療現場のニーズに対応可能な医師の育成に努めています。

滋賀医科大学附属病院の研修の特徴

- ☆プライマリから2次・3次医療にいたる幅広い実践研修
- ☆見学に終わらない実地医療
- ☆多数の指導医（140名以上）によるマンツーマン指導
- ☆研修医約80名のコンパクトな医科大学です。
- ☆東近江総合医療センターとの連携による総合内科・総合外科研修（Aプログラム）
- ☆3年目以降の後期研修を視野に入れた多彩な専門医選択コース
- ☆充実した後期研修の選択肢：専門医・学位・留学・基礎研究
 大学院社会人入学コース
 大学院に高度専門医養成部門設定



予防接種講習会



内視鏡研修風景

▶ 研修スケジュール

プログラム名	1年目	2年目	募集数
Aプログラム	滋賀医大病院	滋賀医大病院 10.5ヵ月 東近江総合医療センター 1.5ヵ月	40名（予定）
Bプログラム	滋賀医大病院	滋賀医大病院	4名（予定）
Cプログラム	協力型病院	滋賀医大病院	10名（予定）

*募集数等は、厚生労働省の承認後に確定します。最新情報はホームページご確認ください。

プログラム名	1年目			2年目	
	内科 (6ヵ月)	救急 (1.5ヵ月)	選択必修(3ヵ月) 消化器・乳腺・一般外科 (1ヵ月) 心臓血管・呼吸器外科 (1ヵ月) 麻、精、小、産 (1ヵ月)	自由選択料 (1.5ヵ月)	自由選択料 (8ヵ月)
Aプログラム					
Bプログラム			※次の組合せから選択する。 小児科(2ヵ月)+産婦人科(1ヵ月) 産婦人科(2ヵ月)+小児科(1ヵ月)	地域医療 (1ヵ月)	救急 (1.5ヵ月)
Cプログラム 1年目 協力型病院	内科 (6ヵ月)	救急 (1.5ヵ月)	選択必修(3ヵ月) 外科 (1ヵ月) 麻、精、小、産から 1～2科選択 (1もしくは2ヵ月)	自由選択料 (1.5ヵ月)	自由選択料(9.5ヵ月)

*Cプログラムの1年目を協力型病院で研修します。協力型病院（長浜赤十字、市立長浜、彦根市立、東近江総合医療センター、近江八幡市立総合医療センター、公立甲賀、草津総合、大津市民、京都医療センター、宇治徳洲会病院、JCHO滋賀病院（予定）、京都府本記念病院（予定））の選択は、マッチ後に第5希望までの研修病院希望アンケートをとりませんが、各病院あたりの募集数は1～2名とし、同一病院の希望者が募集数以上の場合は選考試験の成績順に決定しますので、ご了承ください。

- *1年目の選択必修の精神科、産婦人科は状況により一部院外短期研修を含むことがあります（A,Bプログラム）。
- *2年目の自由選択で選択した内科、外科、小児科は一部協力型病院で研修可（A,Bプログラム）。
- *2年目の自由選択で一部協力型病院で研修可（1ヵ月、1年目で研修可能な協力型病院）。
- *精神科、産婦人科は、状況により一部院外短期研修を含むことがあります。
- *1年目、2年目とも研修医によりローテーションの順番は異なります。

▶ 研修協力病院・研修協力施設

協力型病院

長浜赤十字病院 市立長浜病院 彦根市立病院 近江八幡市立総合医療センター 東近江総合医療センター 公立甲賀病院 京都医療センター 地域医療機能推進機構滋賀病院 野洲病院 日野記念病院 湖東記念病院 大津市民病院 守山市民病院 済生会滋賀県病院 草津総合病院 鹿児島市立病院 水口病院 滋賀里病院 琵琶湖病院 セフィロト病院 豊郷病院 南草津野村病院 宇治徳洲会病院 京都府本記念病院

協力施設

弓削メディカルクリニック 東近江市永源寺診療所 きづきクリニック その他草津・栗東地域を中心に38ヶ所の診療所等

▶ 病院のアピールポイント

滋賀医科大学医学部附属病院は、大学院として卒業研修に関する以下の特徴を非常に高いレベルで維持しさらに充実を目指しています。

1. 臨床ならびに医学教育におけるエキスパート医師が多数在籍

本院には140名以上の教育経験豊かな指導医が在籍しています。そして各診療科には本年度から教育医長が配置され、毎月の研修運営会議を通じて密接な研修連携を構築しています。いずれの診療科においても、理論に基づいた幅広い診断と基本から最新の治療まで経験できます。

2. 新専門医プログラムにもシームレスに対応

本院のほとんどの診療科は新専門医制度での基幹病院となります。初期研修後に志望した専門診療科での研修もシームレスで可能で、初期から後期研修へと円滑なキャリア形成ができます。専門医取得を目指すには最適な環境です。

3. 院外研修にも積極的に対応

本院では医療の最前線である市中病院で研修する機会も積極的に提供しています。特にAプログラムでは、東近江総合医療センターで一カ月半の院外研修ができます。

4. 研修設備と研修環境の充実

院内には多数のカンファレンスルーム、広い専用スキルズラボと多数のシミュレータ機器などの研修設備が充実しています。また膨大な医学関係の蔵書をもつ大学図書館も24時間利用可能です。院内ではセミナーや講演会が多数開催されています。保育所の利用も可能で、本人の家庭環境に配慮した研修ができます。

5. 幅広い世代の医師と多くの同僚と仕事ができる

大学病院はピギナーからベテラン医師まで、幅広い世代で構成されています。将来の医師像がはっきり見えますので、新しく医療人としてスタートする皆さんが医師として成長するには理想的な環境です。また滋賀医大では卒業校を問わない平等な気風があり、世代を超えた自由な雰囲気も特色です。他大学出身者でもすぐに仲間意識が芽生えます。そしてこの多くの仲間との関係は、将来の医師としての絆という大きな宝、財産になります。

みなさん！滋賀医大の懐深い研修体制で、滋賀県、日本、世界を支える医師を目指しませんか？私たちがしっかりサポートいたします。



医師臨床教育センター長
川崎 拓

滋賀医大
附属病院

▶ 募集要項

募集人員：Aプログラム40名、Bプログラム4名、Cプログラム10名 計54名（定数調整により変更する場合があります）

応募受付期間：【第1回】平成29年6月1日（木）から7月21日（金）まで

【第2回】平成29年6月26日（月）から8月4日（金）まで

選考試験日：【第1回】平成29年8月4日（金） 【第2回】平成29年8月23日（水）

筆記試験 学外応募者は引き続き面接

応募書類：応募願書（大学ホームページ <http://www.shiga-med.ac.jp/~kensyu/> からダウンロードしてください。）

応募資格：平成29医師臨床研修マッチングに参加し、第112回医師国家試験を受験予定の者

処遇：基本給 月額9,100円、臨床研修手当 月額162,000円（副直手当1回1万円、月4回限度含む）

*上記により、月収約344,000円、年収約4,128,000円になります。

宿舎：築35年、約1～2戸、家賃無料・共益費あり、研修期間のみ利用可能

その他：通勤手当、健康保険、厚生年金保険

▶ 応募連絡先

所在地：大津市瀬田月輪町

担当部課：医師臨床教育センター（病院管理課内）

電話：077-548-2436

FAX：077-548-2832

E-mail：kensyu@belle.shiga-med.ac.jp

URL：http://www.shiga-med.ac.jp/~kensyu/



▶ 交通案内



JR東海本線（琵琶湖線）京都駅から
 JR瀬田駅まで約20分
 JR瀬田駅から大学病院前までバス約15分
 （運賃：260円）
 JR瀬田駅から大学病院前までタクシーで
 約10分（運賃：約1,500円）
 JR南草津駅から大学病院前までバス約15分
 （運賃：310円）
 名神高速道路草津田上インターチェンジから
 約5分
 詳しくはこちらをどうぞ
<http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/access/>

▶ 病院見学

平日随時。

お申し込みは上記「医師臨床教育センター」まで

E-Mailによりお申し込みください。